

家庭数

学校だより いばみだい

泉台小学校 学校通信 7 号
発行責任 校長 福田 哲也
発行日 平成30年7月20日

保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察いたします。さて、先日は学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本紙にて、その結果をお知らせいたします。

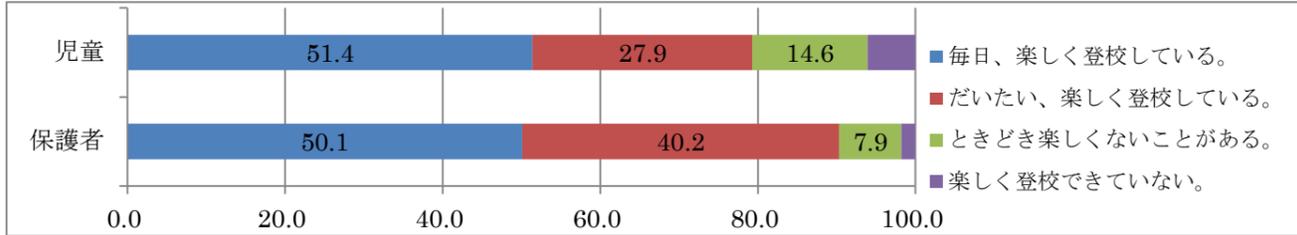
本校では、この結果を生かしながら、教育活動を行っていくよう努力して参ります。今後とも保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケート結果の見方について

子どもと保護者にそれぞれに実施したアンケートには、共通した項目があります。そこで、対比できるものについては各項目ごとに比較等ができるようグラフで表しています。問いは、各キーワードに関して、子どもは自分自身ができているか、保護者はご自身のお子さんができていると思うかを表しています。

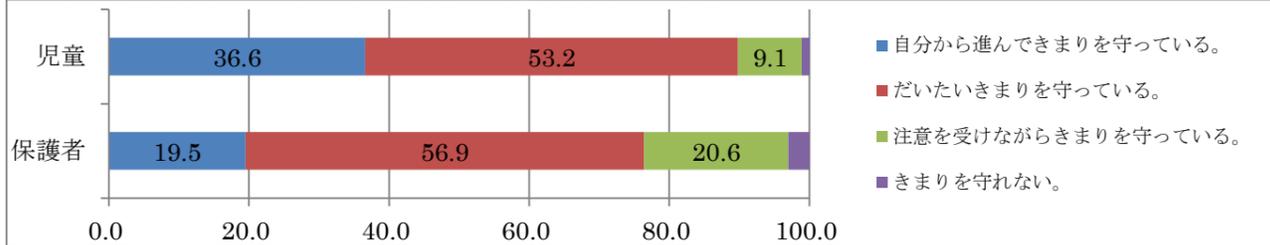
また、青と赤の帯が高い評価、黄緑と紫がそうではない評価という見方も一つの方法です。

1. 学校に来るときの気持ちについて

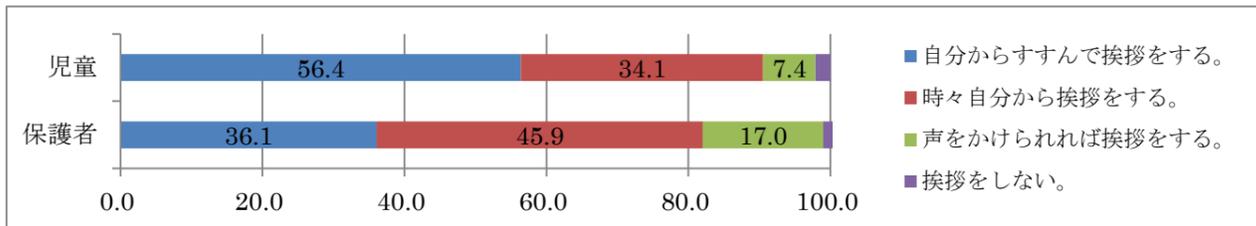


2. 学校のきまりについて

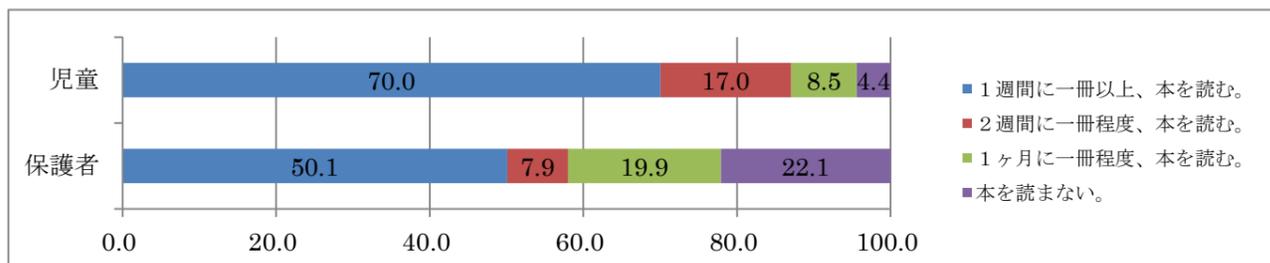
・ろうかを走らない ・チャイムを守る ・遅刻をしない など



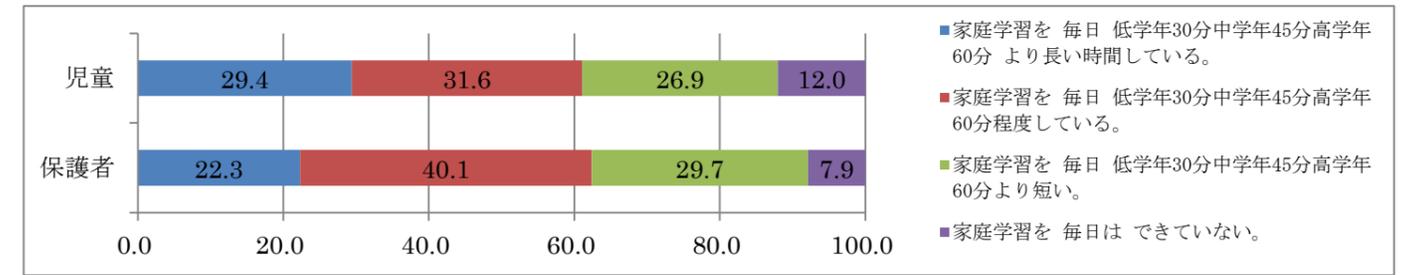
3. あいさつについて



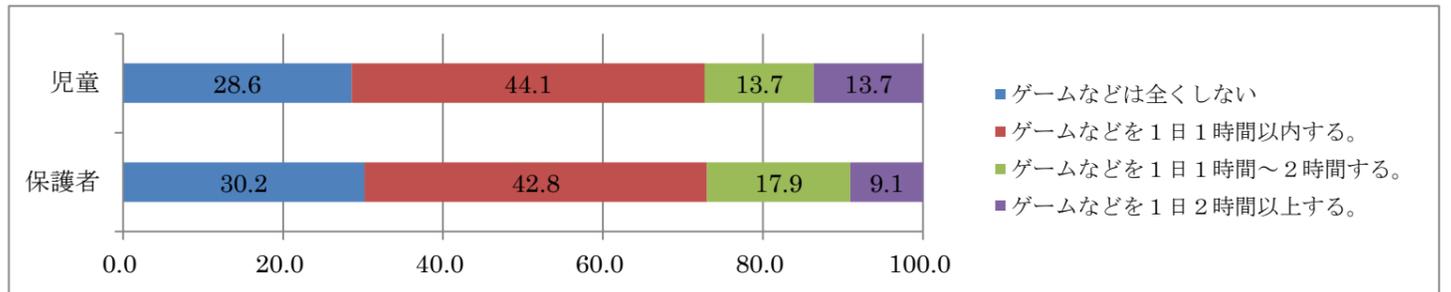
4. 読書について



5. 家庭学習について



6. 携帯電話やゲームについて



アンケートの分析

○学校に来るときの気持ち

約20%の児童が、「学校に来るのが楽しくないことがある」と答えています。この数値は昨年度12月に実施した時とほぼ同じ結果でした。児童一人一人が学校が楽しいと思えることは、学校運営の根幹であると考えています。したがって、「楽しくないことがある」と答えた児童に確実に目を向け、楽しいと思えない理由を明らかにして、楽しいと思えるよう支援して参ります。

○学校のきまり

児童の90%以上は、おおむね「きまりを守っている」と自己評価しています。それに対し20%の保護者が「注意を受けながらきまりを守っている」、3%の保護者が「守れない」と評価しています。

児童は、基本的に校内では、きまりを守って生活しています。しかし、階段・廊下を走ってしまうなど、分かっているが常時行動に移せない状況が浮かび上がっています。大きな事故やけがにつながる前に、児童がさらにきまりを意識し、それを基に判断・行動できるように、今後も指導方法を工夫しながら取り組んで参ります。

一方、学校以外の場所で児童が規則を守っていない姿が見られているようです。集団生活の約束を守るよう、機会と場を捉えてご家庭でも指導していただければ幸いです。

○あいさつ

児童の90%以上は、「挨拶はできている」と自己評価しています。児童は日常生活の中で「あいさつ」の重要性に気付くことができているようです。今年度も「0」のつく日にあいさつ運動に取り組み、学校生活の中で「あいさつ」が定着しつつあります。しかし、現状に満足することなく、すてきなあいさつの響く学校づくりを進めて参ります。

一方、保護者の約20%は「声をかけられれば挨拶をする」「挨拶をしない」と評価しています。今後は、家庭や地域での挨拶、児童間の挨拶を指導して参ります。ご家庭での声掛けもよろしくお願いいたします。

○読書

「月に1冊以上、本を読む」と考えている児童は95%を越え、「読まない」児童は4%です。そのうち約70%の児童は週に1冊以上読んでいると評価しています。一方、わが子は「本を読まない」と見ている保護者は22%です。

今年度も、週1回の朝読書とボランティア「はらぺこあおむし」による読み聞かせ、年2回の読書週間・集会等の様々な取組を行っています。読書活動の充実は、「考える力・書く力の育成」にもつながっていると考えますので、引き続き、読書への意欲や関心が高まるよう全校体制で環境を整えて参ります。

○家庭学習

約60%の児童は、毎日 低学年30分 中学年45分 高学年60分以上の学習をしていると自己評価しています。一方、毎日学習できていない児童は12%です。宿題は必ず行い、学年に応じて自主学習を進めるよう指導しています。しかし、中には、誘惑に負けて、テレビやゲームなどに時間を費やしてしまう児童もいます。ぜひ、ご家庭では、家庭学習の様子を見て、励ましや声かけをお願いします。

○携帯電話やゲーム

ゲーム等をする時間が2時間を越えると答えた児童は約14%です。これは、上記「毎日学習できていない」割合とほぼ一致しています。家庭でよく話し合い、ルールを決め、マナーを守った使い方を促してください。